

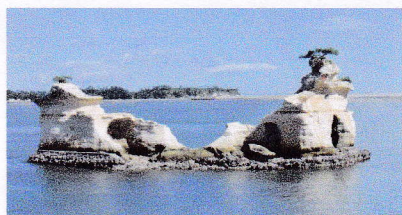
【文字島・沖賀島】

ともに松川浦十二景に詠われ、松川浦の代表的な名所だ。

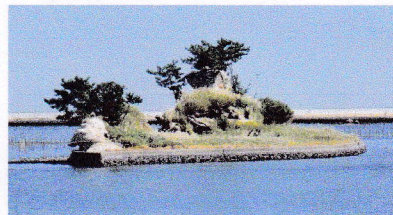
松川浦真景に見られるように、かつては岩子塩釜神社のふもとから文字島、文字島から沖賀島、沖賀島から広い塩田まで橋が架かっていたそうです。(3 ページ参照)

この橋のことを経ヶ橋(塩路橋)といったそうです。橋を架けたとき、橋の無事を祈願して小石にお経の文字を書き橋の下に沈めたので、そう呼んだとのこと。今でも文字石が網に掛かることがあるそうですよ。

岩子では文字島に公衙(こうが=役所)が置かれ、塩釜神祠(しんし=神様を祭った祠)を祀るなど、製塩の中心地となっていたようです。



(文字島)



(沖賀島)

【岩子の塩釜神社】

延元元年(1336)、当時、宇多郡を支配していた黒木城主の黒木大善定信が武運長久、子孫繁栄を祈願して建てたのがはじまりと言われている。その後、黒木氏は相馬氏によって滅ぼされてしまい、この社も荒廃したが、村民の願いによって再建されたそうです。藩政時代は松川浦に塩田が多くあったので、各所に塩釜神社が建てられたそう。

現在の社殿は、昭和55年(1980)12月に強風で以前の社殿が壊れたため、翌年の11月に再建したそうです。

塩釜神社の境内には松川浦十二景に詠まれた、文字島と沖賀島の歌碑がありますよ。



(歌碑7:文字島)



(歌碑9:沖賀島)



(岩子の塩釜神社)

【サギとウのコロニー】

岩子塩釜神社の脇からかつての白山荘の裏を通りゆるやかに道を下っていくと新しく整備された道に出る。その道を春から夏にかけて歩いていると道の右側(晴風荘がわ)の林の中が急に騒がしくなる。木々の枝にサギやウが巣を作って子育てをしている。コロニーだ。



コサギ(左、中)、アオサギ(右)、ウ(下)



ウ(カワウ)